

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成24年4月19日 (2012.4.19)

【公開番号】特開2011-34793(P2011-34793A)

【公開日】平成23年2月17日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2009-179619(P2009-179619)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

H 0 1 M 10/46 (2006.01)

B 2 5 F 5/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 10/44 P

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 2 J 7/00 3 0 1 B

H 0 2 J 17/00 B

H 0 1 M 2/10 U

H 0 1 M 10/46

B 2 5 F 5/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月5日 (2012.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

図 1、図 5 に示すように、下部ハウジング 2 3 0 内部の下側部 2 2 4 と電池セル 2 0 2 との間には、受電コイル 2 4 0 が配置されている。受電コイル 2 4 0 は、基板 2 0 8 の充電回路 2 5 2 と給電線たるワイヤ 2 0 6 を介して接続されている。受電コイル 2 4 0 は、電力供給装置 3 0 0 から電磁誘導により電力を供給され受電することにより、電池セル 2 0 2 の充電電力の供給源となる。ワイヤ 2 0 6 は、ハウジング 2 2 0、2 3 0 の内部であって、側面部 2 2 2、2 2 8 と電池セル 2 0 2 との間を通して受電コイル 2 4 0 と充電回路 2 5 0 とを接続している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 5 】

図 1 に示すように、本実施の形態による電池パック 2 0 0 と接続される電動工具 1 0 0 は、例えば電動ドリルなどであり、本体部 1 0 2、本体部 1 0 2 から延出して形成されるハンドル部 1 0 6、および本体部の先端に取り付けられたドリルビット 1 0 4 を有している。本体部 1 0 2 の内部には駆動回路 1 1 3 が形成され、ハンドル部 1 0 6 内部にはモータ 1 1 5 が備えられている。ハンドル部 1 0 6 の下端部には、電池パック 2 0 0 と電氣的

に接続するための端子 111 を備えている。電動工具 100 は、端子 111 を介して電池パック 200 と接続されることにより給電され、駆動回路 113 がモータ 115 を駆動することによりドリルビット 104 を駆動し、所定の作業を行うように構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

